

令和 4 年 10 月 3 日
学校法人ノートルダム清心学園
清心中学校清心女子高等学校
校長 松沢克彦（公印省略）

令和 4 年度 S S H 授業研究会について（ご案内）

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて本校は、平成 18 年より S S H 研究指定を受け、女子の理系支援を促すためのカリキュラム研究、各種の研修や課題研究などさまざまな事業に取り組んで参りました。昨年より第 4 期の指定を受け、さらに生徒の主体性を育み、深い学びへと導く手法について研究を進めております。このたび S S H 事業として、課題解決に繋げるための 3 つの思考法に基づいた授業を研究する中で、各教科および学校設定科目における教材開発について、下記の通り研究授業を行います。つきましては、校務ご多用のこととは存じますが、多数の皆様にご参加いただき、ご指導・ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

記

1. 日時 令和 4 年 11 月 18 日（金） 13:00 ～ 17:20
2. 場所 ノートルダム清心学園 清心中学校清心女子高等学校
3. 時程 13:00～13:30 受付 記念館 1 階
13:30～13:45 全体会（記念館 2 階会議室）
13:50～14:40 5 限 研究授業①
14:50～15:40 6 限 研究授業②
15:50～16:40 講演会（記念館 2 階会議室）
講師：一般社団法人 Fora 代表理事 藤村卓己 氏
題名：総合的な探究の時間における探究学習の展開とその評価方法（仮）
16:40～17:10 研究協議
17:10～17:20 閉会行事

受付	全体会	研究授業①	研究授業②	講演会	研究協議	閉会
13:00	13:30	13:50	14:50	15:50	16:40	17:10

4. 参加形式 来校（交通費自己負担）もしくはオンライン（zoom）
注）オンラインで参加の場合、研究協議には参加できません。
4. 申込み 参加申込書（別紙）に必要事項を記入し、FAX で送信して下さい。または同内容を下記のメールにお送り下さい。本校 SSH ホームページ（<https://www.nd-seishin-ssh.com/>）の入力フォームからの受付も行っております。
5. 連絡先 清心中学校 清心女子高等学校 Tel : 086-462-1661 Fax : 086-463-0223
E-mail : tanaka-fu@nd-seishin.ac.jp（担当 田中）

本校第 4 期 SSH における SSH 研究授業のテーマは「課題解決に繋げるための、論理的思考（ロジカルシンキング）・批判的思考（クリティカルシンキング）・水平思考（ラテラルシンキング）を意識した授業展開」としています。これら 3 つの思考法を授業の中で組み合わせ、多様な発想の下で多面的な見方ができる力の育成を目指しており、その授業研究の成果を公開致します。このような授業改善と、さらには高大連携実習や課題研究の実施、科学系クラブ活動の充実と合わせて、次世代を担う科学技術系女性人材の育成を目指しています。さらに講演会においては、一般社団法人 Fora 代表理事の藤村先生をお招きして、「総合的な探究の時間」を例とした探究活動の指導展開や実践例並びにその評価方法についてお話していただきます。

【各教科の公開授業概要】

- 英語科（中学 異学年クラス ※中学校入学時の英語力が英検2級以上の生徒） 担当：マーク・ブラントン
「SDG 11 - 住み続けられるまちづくりを（グループプレゼンテーション）」
概要：生徒は、清心中学校をより持続可能なものにする方法について、グループでプレゼンテーションを行います。生徒は、水、エネルギー、ごみ、廃棄物、温度、およびその他の要因について検討し、清心中学校の可能な改善点と、学校としての持続可能性の問題に対する解決策についての提言を行います。
- 英語科（実践英語・高1） 担当：ティムス・ブライアン
概要：今学期、生徒は「分類学」を学び、生物を記述する練習をしてきました。当日の授業では、生徒はさまざまな“靴”を分類のルールに従ってグループ化する活動を行います。生徒は、分類した結果を論理的に英語を用いて表現します。
- 数学科（中1） 担当：友光由紀子「1次方程式の利用」
概要：ひととおり1次方程式の単元の学習を終え、読解力が必要な初見のタイプの問題を題材とし、ペア学習で様々な角度から自由に考え、論拠を積み重ねながら正しい答えを求めたり、他のペアの解答が正しいかどうかを考え発表したりする活動を行います。
- 数学科（高1） 担当：橋岡源九郎「長方形の4つの頂点に対する最短連結」
概要：長方形の4つの頂点を結び、それらの総和が最も小さくなるような状態を考えます。グループ内で話し合いながらさまざまな作図を考え、それらの長さを求め、最も小さくなるものを見つけていきます。そしてその証明を行います。
- 理科（中2） 担当：小野靖子「階段の照明の回路」
概要：階段灯のスイッチのように、複数のスイッチで照明のオンオフを制御できる回路の作成を目指します。導線のつながり方、スイッチの数や接続の仕方、形状はどのようなものが良いのか、グループで話し合いをしながら回路を作成し、回路の仕組みを考えます。
- 理科（高1） 担当：黒田聖子「免疫細胞の働き～もし〇〇が働かなかったら～」
概要：体内環境の調整は基本的に無意識に働くため、普通に機能して当たり前という感覚に陥りやすい。本時はグループ活動で、免疫カードゲームで基本的な免疫細胞の機能を確認し、もし〇〇が働かなかったら体内環境はどうなるか、様々なパターンを考えていきます。
- 国語科（中3） 担当：石井美香「『伊勢物語』第60段」
概要：和歌「さつき待つ～」の後「といひけるにぞ思ひいでて、尼になりて～」という描写から、「女」が「尼」になったことはわかるものの、その経緯や理由ははっきりと述べられていません。そこで本時では、本文に即して「女」が出家するに至った根拠を探し、論理的に思考していきます。
- 国語科（高1） 担当：太田菜津子「女性の視点で読む『伊勢物語』「筒井筒」」
概要：『伊勢物語』「筒井筒」で描かれる恋愛観や結婚観について、「男」ではなく、幼なじみの「女」と「高安の女」の視点で読み直すことで、ラテラルに登場人物の心情を読み、クリティカルに思考し、自身の考えをロジカルに表現する授業を行います。
- 社会科（中1） 担当：香川嗣治「世界のさまざまな地域」
概要：中学1年生の地理の履修範囲（世界地理）を一通り終え、学んだ内容を振り返りながら「多様性」と「共通性」について考えます。また、考える過程で生徒達の持つ知識や情報が、実は「思い込み」である可能性に触れながら、先入観にとらわれない柔軟な思考の大切さについても考えます。
- 地歴公民科（高1） 担当：植田啓生「少女は「はた」を「らく」にできるのか？」
概要：新学習指導要領における高校公民科必修科目・公共の第一部「A：公共の扉（倫理的分野）」において「公共的な空間における人間の生き方在り方」を論理的・批判的・水平的に思考・討議します。映画「千と千尋の神隠し」を素材とし、近現代思想史の概念理解を生徒主体で深めます。
- 総合的な探究の時間（アートサイエンス・高2） 担当：田中福人「関数グラフとアート」
概要：グラフ作成ソフトを使い、関数の数式を入力することで、その数式に対応した形状のグラフを作成します。そして、グラフを複数組み合わせ合わせてイラストを描きます。どのような関数のグラフを用いることで目的のイラストを描けるか、試行錯誤を繰り返しながら思考力を鍛えます。

【講演会について】

○講師：一般社団法人 Fora・代表理事 藤村琢己 氏

○題名：総合的な探究の時間における探究学習の展開とその評価方法（仮）

○講師紹介：藤村琢己（ふじむらたくみ） / ※1990 年生まれ。

2011 年に中央大学法学部入学後、教育/人材育成への興味から株式会社アクティブラーニング、NPO 法人 ISL（アイ・エス・エル）でのインターンを経て、2014 年 1 月より一般社団法人全国学生連携機構（JASCA）の立ち上げに参画。その後、2016 年 4 月より一般社団法人 Fora を設立し、代表理事に就任。

就任後、学校の探究学習カリキュラム策定や、官公庁や教育企業との協働プロジェクトに従事するほか、教材制作や学校支援事業を統括。副業として 2016 年 10 月より衆議院議員事務所、2017 年 6 月より日本環境設計株式会社（現 株式会社 JEPLAN）に入社。2021 年より一般社団法人わくわくスイッチにて、企業研修の研修評価を担当。公益社団法人日本ユースリーダー協会第 7 回若者力大賞実行委員 経済産業省「未来の教室」実証事業 第 2 次公募事業に参画 経済産業省「EdTech 導入補助金 2021」採択事業統括。



※一般社団法人 Fora ホームページ (https://fora.or.jp/about_fora/presidents/) より転載

【本校へのアクセス】

- ・倉敷インターチェンジから岡山方面に10～15分（校内に駐車スペースがございます）
- ・JR中庄駅からタクシーで10分



[別紙様式]

ノートルダム清心学園清心中学校・清心女子高等学校

令和4年度SSH授業研究会 参加申込書

学校 (所属)	学校名： (所属名)
	TEL：

職名	参加者名	教科	研究授業(参観希望に○をお付けください) ※複数回答可
	代表者 E-mail ()		英語 ・ 数学 ・ 理科 ・ 国語 社会 ・ 地歴公民 ・ 総合
			英語 ・ 数学 ・ 理科 ・ 国語 社会 ・ 地歴公民 ・ 総合
			英語 ・ 数学 ・ 理科 ・ 国語 社会 ・ 地歴公民 ・ 総合
			英語 ・ 数学 ・ 理科 ・ 国語 社会 ・ 地歴公民 ・ 総合
			英語 ・ 数学 ・ 理科 ・ 国語 社会 ・ 地歴公民 ・ 総合

11月7日(月)までに Fax または E-mail でお申し込み下さい。

Fax : 086-463-0223

E-mail : tanaka-fu@nd-seishin.ac.jp

なお、以下の QR コードを読み取った先の、参加登録フォームからの申し込みも受け付けております。

